

公民館からのお知らせ

問い合わせ：教育課 ☎54-3637

☆飛鳥史学文学講座

【日時】10月13日(日) 13時～15時

【場所】中央公民館 1階 ホール
〒634-0141

明日香村大字川原91番地の1

【講師】関西大学文学部教授 長谷 洋一

【内容】『国華余芳』の世界

—お雇い外国人が見た正倉院宝物—

詳しくは関西大学教育後援会へお問い合わせください。

【問い合わせ】関西大学教育後援会

☎06-6368-0055

公民館クラブと村民の皆さまの短歌

・亡き友よベルセウス座流星群
見えていますか真夏の夜空に

西村 道子

・南大門の高い敷居を跨がれり
小5の時の足取りかるし

上中 幾代

・赤カンナ池のほとりを埋めつくし
梅雨の鬱をばかき消してをり

森田 幸子

・友見舞う新幹線の車窓より
富士の高嶺よああ神々しい

尾関 常子

・夏の夜の月、光り射し見上げるを
微笑む母は我れ見つけぬ

吉田 清子

・懐かしき友より届きし絵手紙よ
〈文香〉かおりて別世界へと

豊田 絹代

・十三歳日焼けの孫に驚きぬ
遠泳三キ口笑顔で話す

脇田 智子

・あすか路を黄色に染める外来の
ワイルドフラワーコスモスに似て

勝川 京子

・夕闇におされて浮かぶ仄あかり
坂の外灯はなれ屋の窓

奥 まさみ

・夏来れば空襲警報防空壕
七十九年経てど忘れず

脇本 雅子

・夕刻にドクターヘリの北に飛び
あすか大和は安心の苑

森本 博文

・初孫の満面の笑みその指も
食べたいたい思い抑えながらも

山本 修

・里芋の敷き藁分けて草引きぬ
ナメクジうじやうじや土テカテカと

松本 義夫

・夏の朝素敵な貴女は身罷かりぬ
真紅のドレスで華やかにして

田中 祥子

・雨あがり四葩の間にも陽射しきて
さらさらさらり七色しずく

藤川 幹代

・ひと仕事終わりにゆるりはつか糖
一つふくめば雨がばらばら

友田 昌子

・日盛りに帰り来たれば部屋暗し
ピンクの真珠首からははずす

米田多嘉子

・猛暑にも負けじと蝉の合唱に
夏本番を感じとる

辰巳 陽子

・柔らかやいただきものの三度豆
作りし人の手の皺思う

井本 智子

・日盛りの茅花流しの里道を
ランドセル来る明日から休み

米田 郁夫

・梨子色の紬に淡茶の帯しめる
夏を乗り切り秋に装わん

森本千鶴子

・雨蛙ほんの五ミリがびよんぴよんと
進んでゆくよガザに平和を

米田 靖子

・田植え終え早苗はぐくめピカピカと
豊作願うホタルの乱舞

森本 武志